

日本国際政治学会 2011 年度研究大会共通論題・部会プログラム（ []内は会場）

11 月 11 日（金）

午後の部会 13:00~15:30

部会 1 平和構築と国際秩序理論 [中ホール 200]

司会 山田哲也（南山大学）

報告 五十嵐元道（北海道大学大学院）

「トラスティーシップの系譜学—人道主義と帝国」

篠田英朗（広島大学）

「立憲主義と国家主権—平和構築における法の支配アプローチの分析」

遠藤 貢（東京大学）

『崩壊国家（破綻国家）』と国際秩序」

討論 大芝 亮（一橋大学）

部会 2 開戦経緯の再検討 [101]

司会 庄司潤一郎（防衛研究所）

報告 佐藤元英（中央大学）

「日本側乙案とハル・ノートの新検証」

武山眞行（中央大学）

「国際法から見た対米英蘭開戦手続」

森山 優（静岡県立大学）

『国策再検討』とは何だったのか」

討論 波多野澄雄（筑波大学）

小谷 賢（防衛研究所）

部会 3 東アジアのパワーシフトと朝鮮半島 [102]

司会 李鍾元（立教大学）

報告 木宮正史（東京大学）

「1970 年代南北の外交競争における韓国外交とその現代的含意」

平岩俊司（関西学院大学）

「北朝鮮問題を巡る中国の影響力—哨戒艦事件以降の中朝関係を中心に」

三船恵美（駒澤大学）

「台頭する中国へのアメリカの政策と中国の朝鮮半島政策—東アジアのパワーシフトと米中関係」

討論 金淑賢（東北大学）
伊藤剛（明治大学）

部会 4 世界金融危機と平和構築のグローバル政治（自由論題部会） [201A]

司会 清水耕介（龍谷大学）
報告 杉之原真子（上智大学）

「世界金融危機後の国際政策協調—グローバル・レベルと地域レベル」
神江沙蘭（明治大学）

“Politics and Responses to the 2008 Global Financial Crisis: Germany’s
Dilemma in the European Union”

古澤嘉朗（関西外国語大学）

「平和構築における警察改革のジレンマ—ケニアの警察活動の構造に着目して」
モハメド・オマル・アブディン（東京外国語大学大学院）

“Peace Agreements as Means of Political Exclusion: An Analysis of the
Political Context of the Sudanese Peace Agreements”

討論 櫻井公人（立教大学）
山根達郎（大阪大学）

部会 5 国際政治秩序の現実と理論（自由論題部会） [201B]

司会 遠藤誠治（成蹊大学）
報告 西村邦行（京都大学）

「戦後における E・H・カーの受容—日本の国際政治学について」
富永枝里香（大阪大学大学院）

「アメリカの対イスラエル軍事支援形成—1968年 F-4 ファントム売却を事例として」
杉浦功一（和洋女子大学）

「コスモポリタン・デモクラシー論の現状と課題—『移行理論』と国家の民主

化の扱いに注目して」
大西富士夫（海洋政策研究財団）

「オーランド諸島の自治制度の成立と発展—権限譲渡の機能分析」

討論 ロニー・アレキサンダー（神戸大学）
浜中新吾（山形大学）

部会 6 市民の対外政策 —アジア・バロメーターから見たアジア国際関係 [202A]

司会 猪口孝（新潟県立大学）

報告 鈴木均（新潟県立大学）

「アフガニスタン「復興支援」をめぐるドイツ世論の推移—日本を含むアジア・バロメーターとの比較可能性の検討—」

クリスチャン・コレット（国際基督教大学）

「日本市民の見た中国、中国市民から見た日本の距離」

討論 鈴木基史（京都大学）

真鍋一史（青山学院大学）

分科会セッション A（15：45～17：15）別掲

分科会セッション B（17：30～19：30）別掲

11月12日(土)

午前の部会 9:30~12:00

部会7 中国の対外政策決定過程と東アジアの国際政治 [中ホール 200]

司会 植木(川勝)千可子(早稲田大学)

報告 松田康博(東京大学)

「中国人民解放軍の対外関係」

兪敏浩(名古屋商科大学)

「中国における『グローバル・ガバナンス論』と日中関係」

佐橋亮(神奈川大学)

「中国の台頭と地域安全保障アーキテクチャの変容」

討論 毛利亜樹(同志社大学)

中西寛(京都大学)

部会8 紛争後の国家建設と民主的統治 [101]

司会 武内進一(JICA 研究所)

報告 船田＝クラーセン・さやか(東京外国語大学)

「戦後モザンビークにおける国家統治と民主化」

荒井悦代(アジア経済研究所)

「紛争終結後のスリランカー和解なしの国家建設は可能か？」

山田裕史(東京大学)

「国連暫定統治後のカンボジアにおける民主化と平和構築の再検討」

討論 稲田十一(専修大学)

古沢希代子(東京女子大学)

部会9 ソーシャルメディアと政治変動の国際比較 [102]

司会 中山俊宏(青山学院大学)

報告 前嶋和弘(文教大学)

「アメリカの政治過程におけるソーシャルメディア－ティーパーティー運動と

『インターネット・フリーダム』をめぐって」

山本達也(名古屋商科大学)

「アラブ諸国における政治変動とソーシャルメディア」

阿古智子（早稲田大学）
「ネット世論の高まりに見る中国の『民主』」
討論 土屋大洋（慶應義塾大学）

部会 10 同盟の変革と NATO=ロシア関係 [201B]

司会 広瀬佳一（防衛大学校）
報告 小林正英（尚美学園大学）
「同盟の変革と NATO=ロシア関係の現在—NATO 側の視点から」
岡田美保（日本国際問題研究所）
「対外脅威をめぐるロシアの国内政治—欧州 MD 問題を中心に」
小森宏美（早稲田大学）
「エストニアの安全保障観と NATO」
討論 吉崎知典（防衛研究所）
湯浅剛（防衛研究所）

部会 11 Japanese and Korean Regional Strategies 【日韓合同部会】 [201A]

Co-Chairs Kim Sung Ju (Sungkyunkwan University, President, KAIS)
Kojo Yoshiko (President, JAIR)
Speakers Yoshimatsu Hidetaka (Ritsumeikan Asia Pacific University)
“Japan's Economic Diplomacy in East Asia: Its Evolution and Characteristics”
Cho Yun Young (Chung-Ang University)
“Security Regime in East Asia: A Korean Perspective”
Park Ihn-hwi (Ewha Womans University)
“Beyond Bilateralism in East Asia: Is Security Community Possible?”
Discussant Kojo Yoshiko (President, JAIR)
Tanaka Akihiko (University of Tokyo)

分科会セッション C (13 : 30~15 : 10) 別掲

総会 15 : 10~15 : 40 [大ホール]

共通論題 21世紀国際政治—権力移行（パワートランジション）をどう捉えるか

15：40～18：30 [大ホール]

司会 田所昌幸（慶應義塾大学）

報告 田中明彦（東京大学）

「権力移行論—理論と21世紀の現実」

栗栖薫子（神戸大学）

「国際システムにおける権力移行とグローバル・ガバナンスの再編？」

高原明生（東京大学）

「中国の自己認識と外交安保政策—世界金融危機以降の国内論争」

平林博（日印協会）

「国際政治経済のアジア太平洋への重心移転—新興諸国の台頭とパワー・
トランジション」

討論 渡邊昭夫（平和安全保障研究所）

懇親会 19：00～20：30 [エントランス・ホール]

11月13日(日)

分科会セッション D (9:30~11:00) 別掲

分科会セッション E (11:15~12:45) 別掲

午後の部会 14:00~16:30

部会 12 移行期正義の国際比較

[101]

司会 月村太郎 (同志社大学)

報告 大串和雄 (東京大学)

「移行期正義と人権侵害被害者—ラテンアメリカの経験から」

望月康恵 (関西学院大学)

「移行期正義における不処罰の意義と課題—アフリカの事例より」

山田満 (早稲田大学)

「東ティモールにおける移行期の正義—SSR 問題を中心として」

討論 土佐弘之 (神戸大学)

片柳真理 (JICA 研究所)

**部会 13 ポスト 3.11 の日本の国際政治学 —日本はガバナンス危機をいかに克服するの
か? 【市民公開講座を兼ねる】**

[中ホール 200]

司会 星野俊也 (大阪大学)

報告 藤原帰一 (東京大学)

「安全確保の政治—リスク回避と政策選択」

鈴木達治郎 (原子力委員会)

「原子力ガバナンスの現状と課題—福島事故を踏まえて」

長有紀枝 (立教大学)

「復興支援と市民社会・ガバナンス—国際協力 NGO は新たなビジョンを示せる
か」

討論 納家政嗣 (青山学院大学)

亀山康子 (国立環境研究所)

部会 14 南に向かう中国 —冷戦崩壊後の東南アジア・中国関係 [102]

司会 真水康樹 (新潟大学)

報告 小笠原高雪 (山梨学院大学)

「大メコン圏開発と中越関係」

浅野亮 (同志社大学)

『台頭する中国』と東アジア—複合的アプローチによる『全体像』構築の試み」

庄司智孝 (防衛研究所)

「南シナ海問題の再燃とベトナムを中心とする東南アジアの対応」

討論 天児慧 (早稲田大学)

首藤もと子 (筑波大学)

部会 15 1920年代の東アジア国際政治におけるソ連の登場—『革命外交』の虚と実 [201B]

司会 横手慎二 (慶應義塾大学)

報告 麻田雅文 (首都大学東京)

「中東鉄道をめぐる国際情勢、1917-1924年」

青木雅浩 (東北大学)

「外モンゴルの政治情勢とソヴィエト、コミンテルン (1920年代前半)」

シュラトフ・ヤロスラブ (東京大学)

「日ソ基本条約締結後のソ連の極東・対日政策」

討論 酒井哲哉 (東京大学)

服部龍二 (中央大学)

部会 16 トランスナショナルな安全保障問題とその技術的側面 [201A]

司会 森井裕一 (東京大学)

報告 鈴木一人 (北海道大学)

「軍民両用技術と武器のトランスナショナルな輸出管理—EU と加盟国の関係に
焦点を当てて」

前田幸男 (大阪経済法科大学)

「全体的かつ個別的な移動管理—EU 境界線の脱領土化と再領土化」

須田祐子 (東京外国語大学)

「データ移転をめぐる米 EU 関係—PNR 協定と SWIFT 協定の事例を中心に」

討論 宮坂直史 (防衛大学校)

佐藤丙午 (拓殖大学)